

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



シンポジウム開催のお知らせ

近年全国的にシカが増加し、過度な採食によって森林生態系へ悪影響を及ぼしています。その影響は、希少植物の減少、森林下層植生の衰退、生物多様性の低下、土壌の流出など、多岐にわたっています。

大杉谷国有林においてもシカの食害による森林生態系への影響が顕在化しており、早急な対策が求められているところです。そこで、シカの生態、シカが及ぼす森林生態系への影響、全国各地のシカ管理の事例を紹介するほか、「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針」のPRとともに、大杉谷国有林を含む森林におけるニホンジカの管理のあり方を議論するシンポジウムを開催します。

興味のある方は、ご参加ください。 2月23日大阪で開催します。

お申込みは、ちらし又はHPをご覧ください。

シンポジウム

シカと森と人の葛藤

— いかに森を育み、シカを管理するのか —

今、森が失われつつあるのを知っていますか？
これまで森が経験したことがないほどにシカが増え、森がシカを支えきれなくなっているのです。
人は、太古から続く森の営みにより、様々な恵みを受けてきました。
今、シカを含めた自然への関わり方を真剣に考える時が来ているのかもしれない。



シンポジウム シカと森と人の葛藤 —いかに森を育み、シカを管理するのか—

プログラム

第一部 講演会

1. 森にとってシカとはどういう動物か? 高槻 成紀 氏 (麻布大学獣医学部動物応用科学科 教授)
2. 長野県におけるニホンジカの季節移動 瀧井 暁子 氏 (信州大学)
3. 柵を使って森林をまもる丹沢大山の取組み 田村 淳 氏 (神奈川県自然環境保全センター)
4. 森の再生 —三重県大台町における柵とパッチェフェンスの効果と課題— 岡本 宏之 氏 (宮川森林組合)
5. 大台ヶ原のシカをいかに減らすか —シカ生息密度の低減と今後の課題— 荒木 良太 氏 (財)自然環境研究センター)

第二部 パネルディスカッション テーマ「増えるニホンジカから森を守る」

「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針」を紹介し、今後の森づくりとシカ管理について総合討論を行います。
コーディネーター：日野 輝明 氏 (名城大学農学部 教授)

パネリスト：高槻成紀氏、瀧井暁子氏、田村淳氏、岡本宏之氏、荒木良太氏、木暮甲吉氏 (近畿中国森林管理局計画部長)

<p>高槻 成紀 (たかつぎ せいき) 京都府出身。1976年東北大学大学院理学研究科修士課程修了。理学博士。東北大学助教授。専攻は動物生態学。2007年より、名城大学 教授。専攻は野生動物生態学。ニホンジカの生態学研究を主として、シカと動物生態学をテーマに研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)、「野生動物への対応」(2009年刊)、「シカと人と森」(東大出版会)などがある。</p>	<p>岡本 宏之 (おかもと ひろゆき) 三重県出身。京都工業専門学校工学部建築工学科の講師。民間企業を経て、宮川森林組合職員として17年間森林保全に貢献した経験がある。その後、信州大学にて助任に至る。本誌を主宰する「パッチェフェンス」による森林被害対策と森林保全への広範囲展開を行っている。著として森林保全事業に深く関わっている。</p>
<p>瀧井 暁子 (たきい あきこ) 東京都出身。東京工科大学大学院修士課程修了。2008年より、長野県自然環境管理事務所にて日本を中心に各地でニホンジカ、ニホンカウ、シカなどの生態学・動物学に関する研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)などがある。現在、信州大学にてシカと動物生態学をテーマに研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)などがある。</p>	<p>荒木 良太 (あらかし りょうた) 埼玉県出身。東京大学大学院修士課程修了。2000年より、環境省自然環境政策評価センターにてシカと動物生態学に関する研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)などがある。現在、環境省自然環境政策評価センターにてシカと動物生態学をテーマに研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)などがある。</p>
<p>田村 淳 (たむら あつし) 東京都出身。東京工科大学大学院修士課程修了。2000年より、環境省自然環境政策評価センターにてシカと動物生態学に関する研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)などがある。現在、環境省自然環境政策評価センターにてシカと動物生態学をテーマに研究。著書「シカと人の暮らし」(2008年刊)、「シカの生態学」(東大出版会)などがある。</p>	<p>日野 輝明 (ひの てるあき) 宮城県出身。北海道大学大学院修士課程修了。農学博士。現職、名城大学教授。専門分野は野生動物生態学。大杉谷森林組合の職員として17年間森林保全に貢献した経験がある。その後、信州大学にて助任に至る。本誌を主宰する「パッチェフェンス」による森林被害対策と森林保全への広範囲展開を行っている。著として森林保全事業に深く関わっている。</p>

会場アクセス

- 【電車をご利用の方】**
- ・JR「大阪」駅下車 中央南口より徒歩約5分
 - ・JR東西線「北新地」駅より徒歩2分
 - ・地下鉄四つ橋線「西梅田」駅5番出口 (トーンズ地下センター入口横)より徒歩1分
- 【大阪国際空港をご利用の方】**
- 南ターミナル、北ターミナル前の各乗り場から大阪駅前(梅田)周辺行きの特急バスで約30分



ファックス申込み欄 FAX 078-984-2521 (野生動物保護管理事務所 関西分室 担当:横山)

フリガナ	男	住所(市町村および区まで)	所属	参加人数	一緒に来られる方の氏名/所属
氏名	女		メール		

日時 2013年 2月 23日(土) 14:00~17:00

会場 「AP梅田」会議室BCD JR大阪駅より徒歩約5分 (大阪市北区菅橋崎新地2-3-21axビル4F)

お申込み パソコン、携帯の方はこちらから。ファックスの方は裏面をご利用ください。
[URL] <https://system.formlan.com/form/user/osugidanisika/1/> [QRコード]

※当日参加も可能ですが、できるだけ事前にお申込み下さい。お申込期限 2月15日

参加無料 一般の方、行政の担当者さま、多数のご来場をお待ちしています。



シカにより破壊された森林(大杉谷 三重県)

主催：林野庁近畿中国森林管理局 後援：環境省近畿地方環境事務所、大阪府、(一財)日本森林業振興会、毎日新聞社

デジカメ選手権入選作品展

近畿農政局 消費者の部屋

1月21日から2月15日の予定で、近畿農政局「消費者の部屋」において、24年度デジカメ選手権の入選作品展を開催します。近くにお寄りの際は、お寄りください。

場所は、次のとおりです。

近畿農政局1階消費者の部屋「特別展示コーナー」
京都市上京区西洞院通い下長者町下ル丁子風呂町

地下鉄「丸太町」駅下車徒歩約15分(京都府庁西隣り)

平成25年 1月21日(月曜日)～ 2月15日(金曜日)8時30分～17時00分

(土、日曜日、祝日を除きます。初日は午後1時から、最終日は正午までとなります。)

箕面国有林の植物紹介

カワミドリ (学名: *Agastache rugosa*)

カワミドリは、平凡社 日本の野生植物草本Ⅲによれば、山の草地に生える多年草で、径が4角で、高さは、40cm～100cm、全体に強い香気があります。花期は、8月～10月。分布は、北海道～九州、朝鮮、中国、シベリア東部に分布しています。

小学館日本野生植物館によれば、漢方薬として用いられ、食欲不振、頭痛などに用いられるそうです。

箕面の山でも、普通に見られる植物でしたが、最近ニホンジカに食べられ、少なくなりました。

このため、少なくなったカワミドリを増やそうと、NPOにより自生の個体から種子を採取して、その種子から育てた個体の移植が試みられています。



移植されたカワミドリ



カワミドリの開花

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F

